

## 第5回議会報告会質疑応答記録（概要）

平成25年10月15日(火) 午後7時から

地区名 宗賀地区

### 議会報告（信州Fパワープロジェクト）

#### Q1 市民

- ・余熱利用が一番の問題。市がやらなくてはいけない状況かと思うが、果たして採算が取れるのか。自分たちで投資してくる人はいないのではないか。他市では市が補助金を入れてやっている。地元のメリットは余熱利用であるが、設備投資せず余熱利用はない。市の支出が必要ではないか。余熱を地元のために使うように検討してほしい。（要望）

#### Q2 市民

- ・塩尻には憩いの施設がない、市民のための憩いの場を作れないか。温室もいいが。塩尻には温泉が出ないので余熱を利用してできないか検討してほしい。

#### A 中原巳年男議員

- ・議会として検討したい。

#### A 中原輝明議員

- ・余熱利用は温泉施設を望む市民が多い。市民が健康で暮らせるためには、市の金を支出しても仕方ない。  
やるべきだ。

#### Q3 市民

- ・27年頃に建て替えなら莫大な費用は掛かるが、みどり湖の福祉施設に余熱を利用してはどうか。

#### A 古畑議員

- ・ハウスで使うにも近くでなければならぬ、入浴施設は近くの土地では建築許可が下りない。福祉施設は東部、西部、北部の3圏域に分けており、その中で検討する。

#### A 五味議長

- ・小坂田公園辺りに用地交渉している。東地区としては話が出ている。

#### A 中村副議長

- ・北海道下川町を視察に行ってきた。余熱利用ということよりも林業を根付かせることが大事である。森林組合の50名は全員イターン者で、空き待ちが30名いる。住宅を建てるなどのまちづくりが大事だ。入浴施設は現在のところ制限があり、隣接地に建物が建てられない。農業ハウスは水の確保が困難である。また、余熱利用するための配管は1km辺り1億円程度と聞いているが、ボイラーシステムは1台2億円でできる。

#### A 丸山議員

- ・地元とすれば、地元だけではなく森林資源を使った市民の憩いの場をという声も上がっているが、経費的な面があるので検討が必要。熱利用で温浴施設ができればいいと思う。

## 意見交換会

### Q4 市民

- ・牧野、洗馬について、本山床尾線のガードは小学校の通学路だが、交通量が多く狭く曲がっていて危険である。今も未解決で、地域の課題であるためワークショップを3回やった。アーチ式のトンネルを作ってほしい。重大な事故が起こる前に何とかしてほしい。

### A 永田議員

- ・県も十分承知している。多額の費用がかかるということで、返事はするが何もしてくれない。一昨年より何とかしようという動きが出てきた。クランクは残しながら区長の提案方法で行いたい。最善の努力をすると約束する。

### Q5 市民

- ・昨年のような中学生の事故は、宗賀地区からは出さない。要望書を出していく。

### A 中原巳年男議員

- ・少し動き出しているので後押しという意味で出して欲しい。